



整理番号	HT25113	分野	歴史、地学	(キーワード)考古学、フィールド、体験
------	---------	----	-------	---------------------

名古屋大学

河原で宝石と歴史を見つけよう！

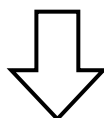
先生(代表者)	門脇 誠二(かどわき せいじ) 名古屋大学博物館・助教		
自己紹介	考古学を専門にしています。特に、文字記録が残る歴史以前の時代(先史時代)の人々の文化や社会について調べ、人間の起源や農業の起源とは何だったのか、という問題に取り組んでいます。書物ではなく、主に西アジアで遺跡調査を行い、石器や土器などの古代の道具から人の過去の「発見」に努めています。		
開催日時・主な募集対象	平成25年8月31日(土)・9月1日(日)	(対象) 小学5年～中学3年生	(人数) 20名
集合場所・時間	名古屋大学博物館	(集合時間)	31日は午前9時半、1日は午後1時半
開催会場(集合場所)	名古屋大学博物館 住所: 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 (地下鉄名城線「名古屋大学」駅) アクセスマップ: http://www.num.nagoya-u.ac.jp/information/access.html		
内 容			
<p>宝石は買うもの、歴史は本から学ぶものと思いませんか？どちらも私たちの身近に埋もれています。小さなものではありませんが、それを自分で発見することは楽しいだけでなく、身の回りの自然や歴史についてより深く理解することにもなります。</p> <p>愛知県の矢作川の河原に出かけ、土器・陶器やガーネットなどの鉱物をさがします。その後で、見つかったものが何なのかを簡単に調べます。また、なぜそこで採集することができたのかについても考えます。フィールド・サイエンスの基本を楽しみましょう！</p>			
スケジュール		持ち物	
<p>1日目(8月31日)</p> <p>9:30 受付(名古屋大学博物館 集合)</p> <p>10:00 バス出発(矢作川へ)</p> <p>10:30 趣旨説明、科研費の説明の後、お昼ごはん</p> <p>12:30 矢作川の河原で砂の採取と土器片の探索</p> <p>14:00 バス出発(名古屋へ)</p> <p>15:30 名古屋大学博物館到着・解散</p> <p>2日目(9月1日)</p> <p>13:30 名古屋大学博物館 集合</p> <p>13:45 川砂の由来と岩石・鉱物についての説明</p> <p>14:00 砂粒の分類体験(宝石さがし)</p> <p>15:15 矢作川流域の遺跡と歴史の説明</p> <p>16:30 修了式(アンケート・未来博士号授与)の後、解散</p>		<p>8月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼食、飲み物、筆記用具、帽子、タオル ・膝まで水に浸るので、サンダルがあると便利 <p style="text-align: center;">特記事項</p> <p>2日セットでの参加です。 申込方法: 往復はがきに ①イベント名 ②郵便番号 ③住所④参加者全員(保護者の方も含む)の氏名(ふりがな) ⑤電話番号 ⑥学校名と学年 ⑦この企画を知った方法を記入して、返信側に返信用の宛名を書いて、申し込み先までお送りください。</p>	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	名古屋大学博物館事務
住所：	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館
TEL 番号：	052-789-5767
FAX 番号：	052-789-5896
E-mail：	earth@num.nagoya-u.ac.jp
申込締切日：	平成 25 年 8 月 19 日(月)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
門脇誠二	H23-24	若手研究(B)	23720382	西アジア先史農耕社会の考古学： 社会史構築へ向けての比較研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。